

2026年度 ニチキッズ大通西18丁目保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月26日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念を念頭に、やさしくつよく生き抜く力を育めるよう、全職員が同じ姿勢で取り組んできた。
子どもの発達援助	職員の研修を多く取り入れ、研修参加者による発達援助の参考資料を職員内で共有してきた。また一人ひとりの発達状況を全職員で理解するために定期的に会議等で話し合い、年齢や個々に合わせた発達状況を把握し、その段階に応じた関わりをしてきた。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳で子どもの様子や成長したこと等を共有した。また、てのりの動画等園の様子を知らせるコンテンツを利用し、保育園の様子を見て頂いた。てのりの動画は今年から導入しているがタイミングが掴めずアップ数が少なかった為、次年度はより多く園の様子をお伝えして行きたい。引き続き保護者の方との信頼関係を深められるように努力している。
保育を支える組織的基盤	年度内に職員の入れ替わりがあり、クラス担任が代わってしまう状況となっていたが、園全体で安定した保育を心掛けてきた。社会的に問題になっている「不適切保育」について、職員会議で話題にあげ、定期的に各々の保育を振り返り保護者に安心して頂けるような体制を心掛けた。日常の保育が充実できるよう一人ひとりの思いを大切にし保護者に安心して頂ける保育体制を心がけた。

総評
安全対策として救急救命の講習に積極的に参加することや動画等を参考に安全研修を行うことで、乳幼児に対する心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去法、止血法等を学ぶようになってきた。今後も講習に全職員が参加し、緊急時の対応ができるようにしていきたい。子どもの発達に合わせた取り組みを行っているが、今年度は食育活動に力をいれ、魚の解体や食材に触れる活動を多く取り入れ食に対して興味・関心が深まった様子が見られた。次年度も、子どもたちの「やりたい」の気持ちを持てる環境を作り、保育計画をしっかりと立て、子ども一人ひとりの気持ちを受容し、温かい保育園になるように努めていきたい。